



開園30周年

# にじのはし幼稚園 園だより



令和8年6月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 飯田美弥

初夏を乗り越して夏のような日が続いたかと思えば、急に寒くなる日もあり、体調を崩さないよう気を遣う日々だと思います。おかげさまでにじのはし幼稚園のにじっこたちは、元気に登園しています。

5歳児いるか組はにじっこまつりの準備をすすめています。グループごとに担当する内容を決めて、お客さんが来るのが待ち遠しそうです。4歳児かもめ組は、砂場で水を使って遊ぶことを楽しんでいます。保育室では美味しそうなピザもつくっていました。3歳児ことり組もお弁当が始まり、幼稚園で過ごす時間も少しずつ長くなってきました。気に入った遊具ができたり、安心してかかわれる先生たちがいたりすることで、自分を出せるようになってきています。登園時に泣く姿に、心配される方もいるかもしれませんが、これも成長の過程で大切な姿の一つです。どんな姿でも出していいことがわかると、少しずつ泣く以外の方法で自分を出すようになっていきます。4歳児かもめ組にも5歳児いるか組にも同じような頃がありました。安心して送り出していただければ幸いです。

また、ご家庭では是非、「今日はどんな楽しいことがあった？」と話題にさせていただければと思います。「何があった？」と聞くと、人間の習性として、どうしてもネガティブな話題に注目してしまうそうです。あえて、楽しかったことを聞くことで、アンテナが立ち、楽しかったことが思い出せるようになります。最初はなかなか出てこないかもしれませんが、お家の方の楽しかったことも話題にしながら、親子の会話のきっかけの一つにしてもらえたらと思います。



にじのはし幼稚園は、教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、遊びや生活を通した豊かな学びを保障します。



○幼児が主体的に場や物、人に関わって遊ぶ環境の構成を工夫し、幼児の興味や関心、発達や時季を踏まえた教材を工夫します。絵本や行事、幼児の実体験など体験の多様性と関連性を踏まえた環境を意識し、学びが深まる豊かな体験を保障します。遊びの伝承や多様性、質の確保のため『にじっこタイム』を設定し、異年齢交流の充実を図ります。

(幼稚園経営計画 4 経営の重点の今年度の主な取組 (2)②より)



幼稚園では、行事の日だけではなく、その行事前に活動を積み重ねたり、行事後の生活や遊びにつながるように保育の流れを設定したりしています。イベントのように当日だけ楽しいというのではなく、その日までワクワクしたり、その日の後も余韻を楽しんだりという一連の流れの中で、子どもたちは行事を体験していきます。6月2日に行われるにじっこまつりや、13日の幼小中合同大運動会も同様です。そのため、幼稚園では、行事の日だけではなく、前後の保育の日も大切だということを是非知っておいていただき、ご家庭の都合もあるかと思いますが、経験が積み重ねられるようご協力いただけたらと思います。

2日のにじっこまつり当日は、地域の方や保護者の方にもご協力いただきます。いつもありがとうございます。楽しい時間となりますよう、どうぞよろしく願いいたします。